

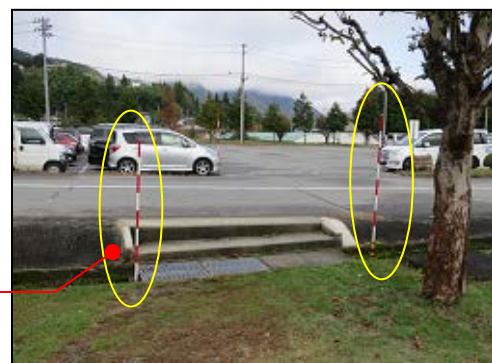
# I. 危険有害性の「見える化」

1. フォークリフトによる前進で運搬できる荷物の高さを制限し、オペレーターの見線からその上限高さを確認できるように目印を付けた



2. 駐車場から工場への通路途中にある側溝横断部両サイドに赤白ポールを立て通路を明示している。

・冬期は積雪により通路がわかりにくく、側溝へ足を落とす。(KY活動、ヒヤリハット)



赤白ポール

3. 工場内通路の曲がり角にミラーを設置。

・廊下曲がり角を内回りしてくる人や台車と接触する。(KY活動、ヒヤリハット)



カーブミラー

4. 換気用窓への接触防止ガード

・通路に設けてある換気用の窓が開いている時通行者からの視認性が悪く、うっかりしていると頭や肩をぶつける。(KY活動)



窓枠接触防止ガード

5. 開閉式自動ドアの前に停止位置を明示。

「自動ドア」であることを表示。

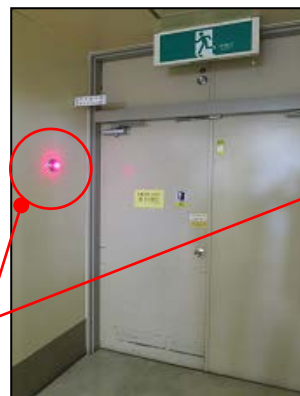
- ・扉の内外で「止まれ」の位置が違う。
- ・停止する位置を誤ると自動ドアに接触する。  
(KY活動)



6. 防火戸の開く側に人感センサーと赤色ランプを設置。

- ・内側から不用意にドアを開けると、外側にいる人に当たる。(KY活動)  
外側に人がいることを内側で知ることにより、ゆっくりドアを開ける。

人感センサーランプ



扉の動線

7. 地震発生時の一時避難場所を床に明示

- ・地震発生時の避難について従業員に周知すると共に避難経路を各工程に掲示し、一時避難場所に避難場所の表示をした。

